

人材育成	集落コミュ	特産品の活用	都市農村交流	定住促進	バイオマス	農商工連携	地産地消	企業参入
		○	○	○				

名称	立山の自然の中に生まれたテーマパーク 吉峰
所在地	富山県中新川郡立山町吉峰野開
連絡先	TEL076-462-9974 FAX076-463-6611 立山町農林課

地元産木材を活用した整備で観光交流の促進

当地区は、中山間地域及び森林地域であり、平野部の効率性を重視した農業とは異なり、農地や森林の公益的機能を重視した農林業が展開されている。豊かな森林や昆虫など自然資源に恵まれるが、過疎化が進んできたことから都市住民との交流やグリーンツーリズムなどの地域間交流の取り組みをはじめている。

地域間交流の拠点施設として立山グリーンパーク吉峰内の「よしみねハイツ」を地元産木材活用により改築・整備し、交流人口の拡大と農村の定住及び自然体験型の交流事業等を推進する。

1. 具体的な取組内容

- ・木材の利活用 20. 12m³（県内産杉の間伐材を主に使用）
交流施設の改築及び内装の模様替えに合わせ
床、天井、腰板、デッキテラスに木材を活用
- ・交流人口 31万人（H22年実績）
立山グリーンパーク吉峰 入り込み客数
- ・各種イベント開催 ウオーキングイベント
スタンプラリー（富山市周辺11施設連携開催）
たてやまドンドン祭り

2. 導入事業や活用した地域資源

導入事業	・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
活用している地域資源	・地元産 杉 ・立山黒部アルペンルート及び称名滝等の自然資源

3. 取り組みの経緯

○活動のきっかけ

当地区は、人口の減少及び高齢化が著しく、農林業後継者の確保が困難であり森林資源等の適正管理にも支障があると危惧されることから、森林資源の利活用による地域活性化が急務となっていた。また、立山グリーンパーク吉峰内に整備した「よしみねハイツ(ゆ〜ランド)」はオープンしてから約15年近くが経過し手狭で老朽化が進んできたうえに、近隣に類似施設が多くなってきたこともありリニューアルを検討した。

○今後の展開

整備した立山グリーンパーク吉峰や立山黒部アルペンルート及び称名滝等の自然資源を有効に活用した観光を滞在交流分野で拡大し、地域活性化を目指す。



<施設全景>



<施設内(木材の利活用)>



<施設内(木材の利活用)>



<施設内(木材の利活用)>

4. 期待される地域経済への効果等

- ・交流・観光人口の増加による地域活性化
- ・新規雇用の創出による地域への定住人口の確保

5. 取り組む上で苦労した点、よかった点

☆苦労した点

- ①どこで木材を使用すれば木の温かみをお客さんに伝えることができるか
- ②雨雪に耐えるデッキテラスの木材加工
- ③木の節による肌触りの違和感解消。

○よかった点

- ①お客さんが素足で歩いて、木の温もりが感じられると好評
- ②明るくなり清潔感があると評判。